

2021年12月16日 全8頁

Indicators Update

2021年11月貿易統計

自動車輸出の回復が本格化し輸出金額は大幅増

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+20.5%と9カ月連続で増加した。自動車輸出の持ち直しが本格化したことで、全体の増加ペースも大幅に回復した。季節調整値では前月比+5.3%と2カ月連続で増加し、9月の減速分を補って余りある伸びとなった。輸入金額は前年比+43.8%と、エネルギー品目の高騰を背景に大幅増が続いている。季節調整値で見ても前月比+5.9%と4カ月連続で増加しており、依然として高水準だ。これを受けて貿易収支は▲9,548億円となった。季節調整値では▲4,868億円となり、7カ月連続の赤字であった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+6.8%と2カ月連続で増加した。地域別に見ると、米国向け（同+3.7%）、EU向け（同+3.4%）、アジア向け（同+2.7%）のいずれも増加した。
- 先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るだろう。主力の自動車分野では挽回輸出が進むとみられる。ただし、世界的な半導体不足が継続する中では急激な生産の増加を見込みにくく、供給制約の緩和に伴って徐々に輸出額が回復していく姿が想定される。また新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が拡大しており、各国における消費機会の減少が日本からの輸出の下振れリスクとなろう。

【貿易金額】自動車輸出の回復が本格化し輸出金額は大幅増

2021年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+20.5%と9カ月連続で増加した(図表1)。季節調整値で見ても前月比+5.3%と2カ月連続で増加しており、9月の減速分を補って余りある大幅な伸びとなった。東南アジアの一部地域でロックダウンが解除され、主力の自動車などの部品調達難が緩和されたことが背景にある。11月の自動車輸出額は、部品調達難が本格化する直前の7月の水準近くまで回復した。また輸出価格は前月から低下しており、円安が価格競争力の向上に寄与しているとみられる。

輸入金額は前年比+43.8%と大幅増が続いている。品目別では原油及び粗油や液化天然ガス、石炭など、高騰が続いているエネルギー品目が押し上げた。季節調整値では前月比+5.9%と4カ月連続で増加しており、高水準が続いている。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量(大和総研による季節調整値)は同+5.2%、輸入価格(同)は同+0.7%となった。世界的な資源高に加え、円安の進行が加速していることを背景に輸入価格が上昇した。

輸入の増加幅が輸出のそれを上回り、貿易収支は▲9,548億円と赤字幅が拡大した。季節調整値で見ても▲4,868億円と7カ月連続の赤字であった。

図表1：貿易統計の概況

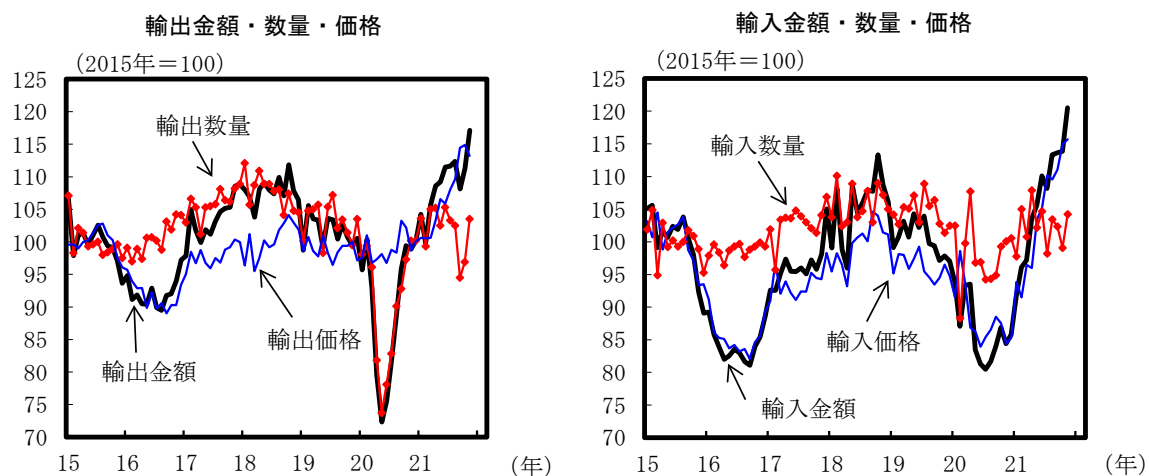
		2021年									
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
原系列 前年比 %	輸出金額	16.1	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4	20.5	
	コンセンサス									21.0	
	DIRエコノミスト予想									24.4	
	輸入金額	5.7	12.7	27.7	32.5	28.1	44.5	38.3	26.7	43.8	
	輸出数量	12.6	28.4	38.5	37.1	25.2	13.7	3.2	▲2.6	4.7	
	価格	3.1	7.4	8.0	8.4	9.5	11.0	9.5	12.3	15.2	
	輸入数量	3.9	1.2	6.8	8.2	2.0	14.5	7.5	▲3.0	6.1	
価格	1.8	11.4	19.5	22.5	25.6	26.2	28.7	30.7	35.5		
	貿易収支(億円)	6,578	2,488	▲1,934	3,789	4,358	▲6,431	▲6,296	▲685	▲9,548	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	5.9	2.8	0.5	2.1	0.1	0.7	▲3.8	2.9	5.3	
	数量	5.7	0.2	▲2.6	2.7	▲1.9	▲0.8	▲7.8	2.5	6.8	
	価格	0.1	2.6	3.2	▲0.6	2.1	1.5	4.4	0.4	▲1.5	
	輸入金額	1.1	6.5	2.0	4.3	▲1.8	4.7	0.3	0.2	5.9	
	数量	▲4.0	7.0	▲5.3	2.4	▲6.2	5.3	▲1.1	▲3.2	5.2	
	価格	5.4	▲0.5	7.7	1.8	4.7	▲0.6	1.4	3.5	0.7	
		貿易収支(億円)	3,139	880	▲131	▲1,624	▲275	▲3,155	▲6,033	▲4,183	▲4,868
	税関長公示レート	107.13	109.56	108.80	109.50	110.55	109.89	109.87	111.42	113.95	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

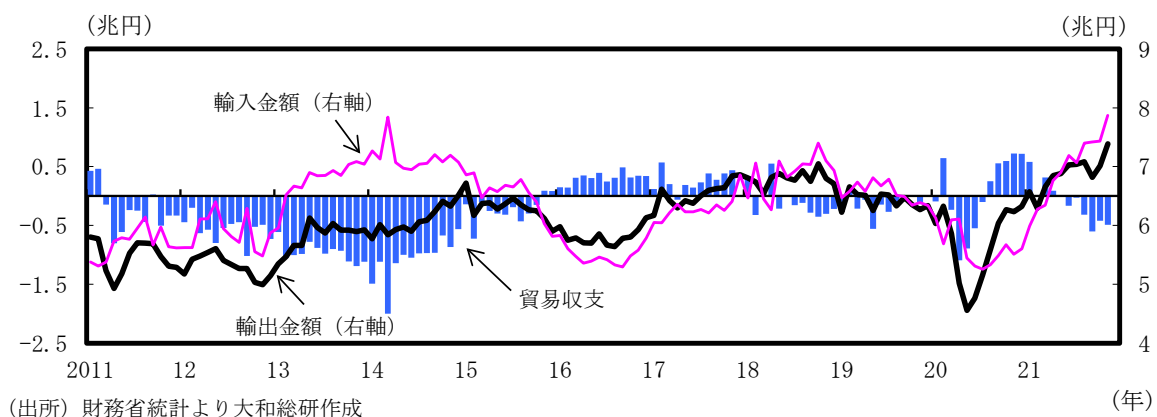
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



【輸出数量】アジア向けが増加に転じ全体の伸びが加速

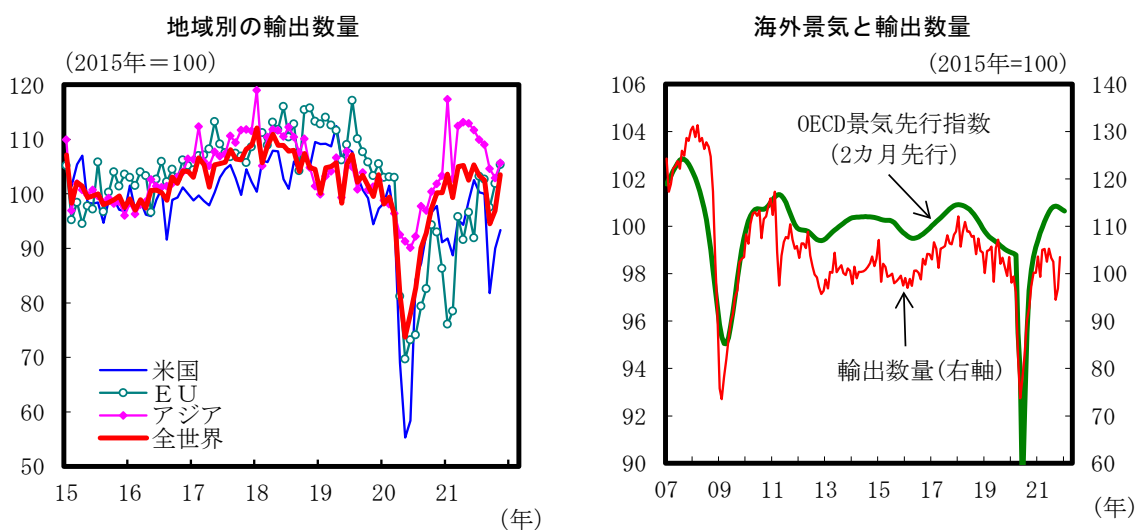
11月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+6.8%と2カ月連続で増加した。10月（同+2.5%）は9月（同▲7.8%）の急減分の約3割を補う程度にとどまったが、11月は自動車輸出の回復が本格化したことに加え、アジア向け（同+2.7%）が増加に転じたことで全体の伸びが加速した。また米国向け（同+3.7%）やEU向け（同+3.4%）も増加した。

米国向けは2カ月連続で増加した。自動車輸出の回復が増加分の大半を占めており、水準で見れば部品調達難の影響が表れ始めた8月を上回っている。自動車の部分品や原動機（自動車のエンジンを含む）といった自動車関連財も増加した。また9月以降は半導体等製造装置の輸出が高水準で推移しており、マレーシアでのロックダウンを受けて半導体不足が深刻化したことに対応し、米国内で設備増強を急ぐ動きが表れたとみられる。他方、電算機類（含周辺機器）や同部分品は減少しており、半導体不足の影響によって増産しづらい状況が続いていると考えられる。

EU向けは2カ月連続で増加した。自動車が大きく回復し全体を大きく押し上げた。なお、水準はコロナ禍前（2020年2月）の7割程度にとどまっている。コロナショック以降、EU向け自動車輸出はコロナ禍前の7-8割程度で頭打ちとなっており、欧州市場における電気自動車（EV）へのシフトを背景に日本からの輸出が伸びにくくなっているとみられる。その他の品目では、米国向けと同様に電算機類（含周辺機器）や同部分品が減少した。

アジア向けは7カ月ぶりに増加した。中国向けを中心に自動車や集積回路（IC）が増加に寄与した。他方、半導体等製造装置が全体を押し下げた。アジア向けの半導体等製造装置は、コロナショックに際して急増した後は横ばい圏で推移しており、欧米向けに比べて早い段階で高水準に達していたため、半導体生産のための設備投資需要が一服している可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】米国向けを中心に増加もオミクロン株の拡大がリスクに

先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るだろう。東南アジアの一部地域でのロックダウンは解除または緩和されているため部品調達難は解消しつつあり、主力の自動車分野では挽回輸出が進むとみられる。ただし、世界的な半導体不足が継続する中では急激な生産の増加を見込みにくく、供給制約の緩和に伴って徐々に輸出額が回復していく姿が想定される。また新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大に伴い、欧州を中心に行動制限が導入されている。各国における消費機会の減少が日本からの輸出の下振れリスクとなろう。

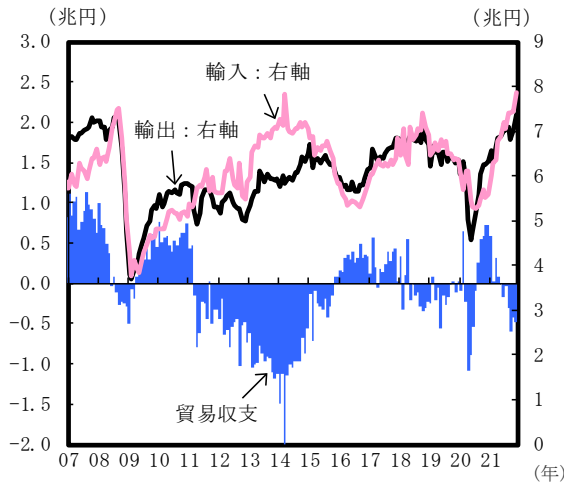
地域別に見ると、米国向けは増加基調を維持するとみている。11月の米小売売上高は前月比+0.3%と増加が続いている。高インフレによる実質賃金の低下に伴って低所得者層を中心に消費者マインドが低下しているものの、高所得者層への影響は小さいとみられ、マクロで見た個人消費は堅調に推移するだろう。なお米国では11月にインフラ投資法が成立したが、強化されたバイ・アメリカン法の下ではインフラ投資の部材が米国製品に限られるため、日本の財輸出への恩恵は限定的なものになるとみている。

欧州向けはこのところの回復基調が足踏みするとみている。欧州では英国やフランスを中心に新型コロナウイルスの新規感染者数が急増している。多くの地域でワクチンが普及していることから、感染者数当たりの重症者数や死者数は少ないものの、各国は行動制限の実施に乗り出しており消費機会が抑制されるだろう。またユーロ圏経済は4-6月期、7-9月期と連続して高成長を記録したが、10-12月期以降は景気が減速するとみられ、日本からの輸出も伸びづらい状況が予想される。

中国向けは当面は横ばい圏で推移するとみている。日本から中国に向けた輸出は中間財や資本財が中心であるため、中国国内での生産水準との連動性が高く、足元の世界経済の回復に伴う増産が日本からの輸出を下支えするとみられる。しかしながら、中国では鉱工業生産指数の上昇率が低空飛行を続けている。電力不足などを背景とした減産は年明け頃まで続くとみられ、日本の輸出にも悪影響を及ぼすだろう。また中国国内の家計消費の減速がこれに拍車をかけており、世界経済の回復に伴う日本からの輸出の押し上げ効果を相殺するとみている。他方、5年に一度の共産党大会に向けて成長率が押し上げられる傾向があることから、2022年秋の党大会が近づくとつれて徐々に景気は加速していくだろう。

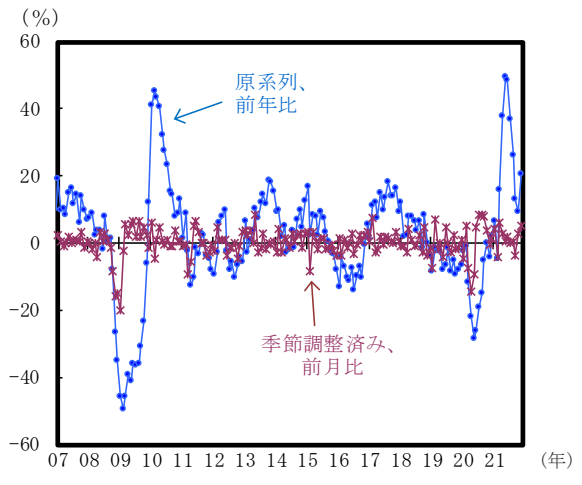
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

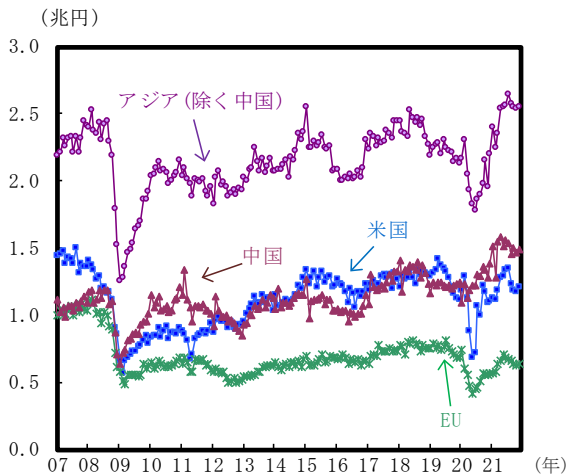


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

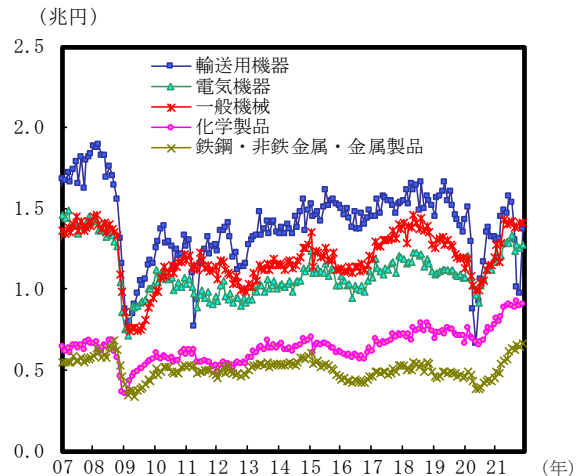


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

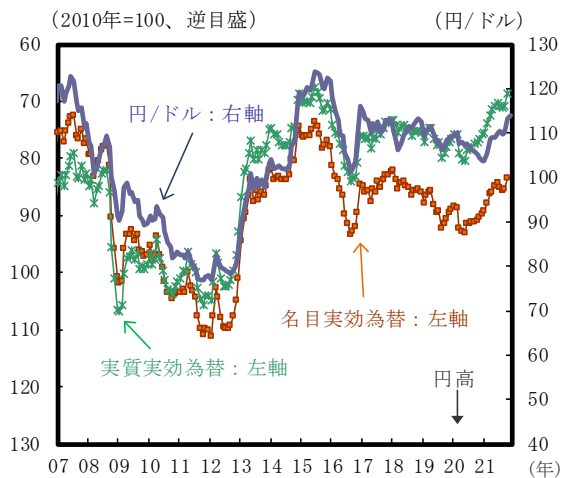


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

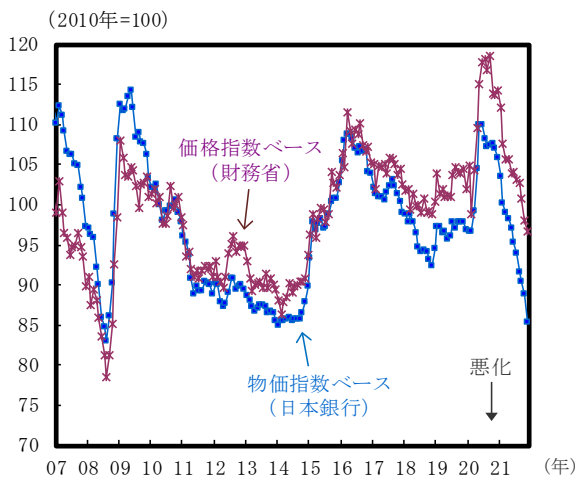


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4	20.5	100.0	20.5
食料品	22.7	25.6	29.2	22.6	17.2	18.5	1.2	0.2
原料品	84.9	50.4	48.9	35.8	18.5	26.1	1.5	0.4
鉱物性燃料	7.7	133.2	153.5	167.8	210.0	166.4	1.6	1.2
化学製品	39.5	33.1	28.5	27.3	18.0	20.2	12.3	2.5
原料別製品	56.6	55.1	43.6	42.8	37.2	44.4	12.1	4.5
鉄鋼	73.0	88.3	83.6	94.4	80.1	87.8	5.1	2.9
非鉄金属	45.2	31.5	13.3	14.5	20.5	27.7	2.4	0.6
金属製品	60.1	50.0	29.1	23.1	13.0	11.2	1.4	0.2
一般機械	42.0	35.8	31.7	23.7	22.9	22.6	19.1	4.2
電気機器	39.9	30.9	17.1	14.4	10.5	14.2	18.1	2.7
半導体等電子部品	24.7	27.8	14.9	13.7	15.1	20.8	6.0	1.2
I C	14.2	24.4	12.7	8.7	13.3	20.3	4.2	0.9
映像機器	64.4	14.6	15.6	5.3	▲20.4			
映像記録・再生機器	74.8	17.6	14.4	6.2	▲23.0	▲11.5	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	80.0	137.0	25.5	0.6	20.6	7.2	0.3	0.0
電気回路等の機器	47.9	33.4	25.4	20.4	10.9	9.9	2.4	0.3
輸送用機器	68.1	44.8	11.5	▲24.5	▲28.7	4.3	20.2	1.0
自動車	102.8	43.5	4.0	▲40.3	▲36.7	4.1	14.1	0.7
自動車の部分品	114.8	60.1	28.7	9.9	▲7.0	0.7	4.0	0.0
その他	47.5	21.9	27.7	13.5	17.8	29.5	13.9	3.8
科学光学機器	26.1	19.8	21.6	15.8	14.6	26.8	2.9	0.7

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	85.7	26.8	22.8	▲3.3	0.3	10.0	100.0	10.0
食料品	115.4	51.9	66.0	23.2	58.1	18.9	0.9	0.2
原料品	110.2	21.8	60.5	18.0	42.5	6.7	0.6	0.0
鉱物性燃料	▲33.1	32.3	595.0	2673.2	693.6	739.6	0.3	0.3
化学製品	22.5	39.5	55.0	24.1	28.9	26.2	7.2	1.7
原料別製品	85.4	51.9	44.2	21.9	40.3	27.8	6.6	1.6
鉄鋼	145.3	35.0	48.6	59.7	104.8	70.6	1.3	0.6
非鉄金属	5.9	75.7	52.4	35.8	83.9	52.5	0.8	0.3
金属製品	112.7	43.1	26.0	14.1	11.8	0.2	1.4	0.0
一般機械	80.3	47.8	54.2	40.7	29.8	20.4	23.9	4.5
電気機器	79.8	35.5	23.6	5.8	17.0	21.8	14.8	2.9
半導体等電子部品	76.0	51.4	37.4	27.1	26.2	21.9	1.5	0.3
I C	47.7	32.4	21.0	10.4	12.6	22.3	0.6	0.1
映像機器	89.9	3.0	36.1	▲5.8	▲15.6			
映像記録・再生機器	124.8	25.1	41.1	▲6.0	▲24.6	▲14.3	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	74.4	659.1	168.6	78.7	41.8	74.2	0.3	0.1
電気回路等の機器	65.4	25.6	20.6	▲0.9	13.2	13.0	1.5	0.2
輸送用機器	129.5	11.2	▲8.3	▲38.4	▲39.1	▲8.7	34.2	▲3.6
自動車	144.3	10.7	▲12.4	▲47.0	▲46.4	▲11.5	26.7	▲3.8
自動車の部分品	179.9	45.1	29.8	13.2	0.8	13.4	5.8	0.8
その他	68.3	16.3	28.7	▲6.1	22.9	24.7	11.5	2.5
科学光学機器	38.1	36.3	42.4	19.5	29.3	17.8	2.6	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	51.1	46.1	29.9	12.1	12.1	16.4	100.0	16.4
食料品	92.5	87.7	78.7	55.7	50.2	47.7	0.7	0.3
原料品	52.6	42.4	31.6	44.4	10.6	46.9	0.9	0.3
鉱物性燃料	119.1	95.8	30.6	131.0	957.7	55.0	0.1	0.0
化学製品	46.3	30.7	25.3	38.0	27.6	19.2	12.3	2.3
原料別製品	84.2	94.0	111.5	60.9	45.9	42.0	6.9	2.4
鉄鋼	173.7	445.8	495.3	140.9	192.2	140.1	1.4	0.9
非鉄金属	80.5	36.5	77.3	206.4	13.0	46.1	0.9	0.3
金属製品	74.0	42.7	46.7	29.8	17.5	19.8	1.4	0.3
一般機械	65.7	51.2	47.2	31.0	25.8	18.0	23.0	4.1
電気機器	52.5	40.4	22.8	18.4	16.2	5.7	17.1	1.1
半導体等電子部品	41.0	47.8	25.5	27.0	7.1	13.4	2.2	0.3
I C	20.5	39.5	26.5	13.8	▲0.6	9.0	0.9	0.1
映像機器	78.8	22.2	6.0	17.0	▲24.7			
映像記録・再生機器	81.2	31.1	1.6	19.1	▲21.1	▲11.4	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	69.2	75.2	5.2	▲4.8	▲11.4	55.7	0.3	0.1
電気回路等の機器	71.5	73.5	63.0	39.3	43.2	24.7	1.6	0.4
輸送用機器	40.1	41.2	3.1	▲36.8	▲26.0	3.0	22.1	0.8
自動車	14.8	9.6	▲18.3	▲58.5	▲34.2	17.9	14.6	2.6
自動車の部分品	206.7	73.7	17.9	▲5.8	▲21.5	▲36.4	4.0	▲2.7
その他	33.5	44.6	27.9	32.3	20.0	35.3	16.9	5.1
科学光学機器	31.5	54.3	32.2	28.6	35.7	40.3	4.3	1.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	37.1	32.5	26.1	21.3	15.0	24.7	100.0	24.7
食料品	6.9	18.6	18.8	22.2	10.9	18.7	1.6	0.3
原料品	86.2	52.4	46.7	40.1	17.8	27.5	2.2	0.6
鉱物性燃料	10.6	126.2	32.0	79.7	125.3	128.7	2.0	1.4
化学製品	44.0	33.7	29.0	26.8	15.5	19.8	15.8	3.3
原料別製品	49.8	55.6	42.1	42.1	35.6	45.6	14.9	5.8
鉄鋼	67.0	90.0	83.1	91.5	76.4	92.2	6.8	4.0
非鉄金属	45.1	35.7	18.5	13.1	20.5	26.0	3.5	0.9
金属製品	42.2	49.4	23.5	26.5	17.7	14.5	1.5	0.2
一般機械	25.6	26.8	20.5	16.8	19.9	23.6	18.2	4.3
電気機器	30.3	27.6	15.4	15.5	9.4	14.4	22.1	3.5
半導体等電子部品	21.5	25.9	13.2	12.1	14.8	20.6	9.3	2.0
I C	12.8	23.7	11.9	8.3	13.5	20.3	6.8	1.4
映像機器	37.3	5.6	▲1.3	16.1	▲16.1			
映像記録・再生機器	47.0	6.1	2.8	21.9	▲17.8	▲2.4	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	72.5	74.4	4.3	▲13.5	25.2	▲13.1	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	41.8	30.7	22.1	20.3	9.5	9.1	3.2	0.3
輸送用機器	40.3	32.6	16.2	▲21.2	▲23.2	8.2	7.9	0.7
自動車	52.6	30.8	9.3	▲47.3	▲35.4	3.4	4.0	0.2
自動車の部分品	64.0	59.9	25.4	16.6	▲4.5	3.5	3.0	0.1
その他	41.5	21.9	35.8	30.5	16.4	33.4	15.3	4.8
科学光学機器	20.3	9.9	15.6	13.1	6.7	25.6	3.2	0.8

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	27.7	18.9	12.6	10.3	9.6	16.0	100.0	16.0
食料品	35.1	73.8	72.8	44.5	40.1	25.2	1.0	0.2
原料品	141.5	53.5	39.0	71.4	48.9	42.3	2.1	0.7
鉱物性燃料	▲33.4	▲6.7	▲23.3	▲1.8	▲1.8	39.2	0.8	0.2
化学製品	27.9	20.3	25.4	24.1	18.6	22.1	17.6	3.7
原料別製品	20.2	19.1	8.9	10.6	26.0	26.8	12.3	3.0
鉄鋼	20.6	23.6	5.9	23.6	32.4	47.3	3.9	1.5
非鉄金属	15.4	8.0	6.3	▲5.6	41.6	25.2	3.8	0.9
金属製品	27.2	34.8	10.3	22.1	16.7	14.0	1.6	0.2
一般機械	25.7	13.5	5.6	10.1	12.9	22.7	22.9	4.9
電気機器	24.4	24.5	15.0	17.6	13.0	14.3	21.9	3.2
半導体等電子部品	2.8	19.7	11.2	16.8	27.0	25.3	7.3	1.7
I C	▲12.7	15.3	10.6	20.3	30.6	31.4	5.3	1.5
映像機器	2.8	▲9.1	▲11.7	11.8	▲31.6			
映像記録・再生機器	6.5	▲8.6	▲6.9	19.5	▲31.6	▲10.5	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	57.0	99.3	▲20.0	▲26.3	28.5	▲38.8	0.3	▲0.2
電気回路等の機器	28.8	16.8	16.8	13.8	4.0	4.9	3.3	0.2
輸送用機器	15.2	13.4	▲5.5	▲43.7	▲33.8	▲8.9	9.2	▲1.0
自動車	17.6	13.6	▲11.2	▲71.9	▲46.8	▲8.3	5.3	▲0.6
自動車の部分品	8.6	13.1	2.1	▲3.3	▲15.1	▲10.6	3.7	▲0.5
その他	48.7	16.4	17.4	20.1	2.5	8.0	12.2	1.0
科学光学機器	20.5	2.5	1.5	1.3	5.6	14.3	3.9	0.6

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成